

リニアを見据えた鉄道ネットワークの充実・強化について

本県では、リニア中央新幹線の開業による時間短縮効果を県内全域に波及させ、最大限に活用するため、2015年3月に「リニアを見据えた鉄道ネットワークの充実・強化に関する方策案」を策定

方策案の内容

(Ⅰ) 名古屋駅の乗換利便性の向上 (スーパーターミナル化)

名古屋市が行うわかりやすい乗換空間の形成等に関する事業に対して、2016年度から県費補助を行っている。

(Ⅱ) 名古屋駅と豊田市間の速達化

名古屋駅からの40分交通圏の拡大のため、既存鉄道路線の直通運転化・高速化などの取組を行っている。

(Ⅲ) 中部国際空港アクセスの向上

世界との直結性を高めるため、リニア名古屋駅と中部国際空港とのアクセス利便性を確保するための取組を行っている。

(Ⅳ) 東海道新幹線駅の利活用の促進

リニア開業も引き続き東海道新幹線が広域的な移動を支える交通手段になる見込みであることから、東海道新幹線駅へのアクセス向上のための取組を行っている。

名古屋駅と豊田市間の速達化



知立駅付近連続立体交差事業

県内市町村では、名古屋駅からの所要時間の短縮に寄与する連続立体交差事業や、企業立地等を見込んだまちづくりなど、リニア開業を見据えたプロジェクトが進展